

成田業務次長に訊く!

「各人の希望・事情を尊重した働き方」の実現がもたらす「若返り」・「高定着率」・「絶えぬ女性ドライバー雇用」!



成田 純男 業務次長

当社では23歳から67歳まで、60人のドライバーが活躍中で、半数以上が異業種からの転職者です。応募方法で最も多いのは転職サイトからの応募ですが、近年は当社のドライバーによる転職を希望する若年者の紹介が増え、20～30代のドライバーが立て続けに入社したことで、年齢層が一気に若返りました。また、女性ドライバーの採用は15年ほど前から行っており、川畑さんのように、当社のホームページ(HP)やYouTubeの求人動画を見て応募してくれる女性ドライバーも増えています。採用面接では、働き方の希望や家庭の事情などをしっかりヒアリングした上で担当運行を決定し、入社後も有給休暇の取得や働き方の変更といったドライバーの希望を実現できる体制を整えており、それが離職率の低さに繋がっています。女性ドライバーにはテールゲートリフターやロールボックスパレット等を用いた、荷扱いのしやすい業務を担当してもらっており、荷扱いの丁寧さと繊細さで、お客様からの評価も高いです。入社前の面接時からずっと大型車への乗務を希望している川畑さんには、いつでも大型ドライバーになってほしいところではありますが、お子さんのことを最優先しつつ、今後も当人と相談を重ね、最適なタイミングを見計らってステップアップしてもらおうと考えています。

株式会社旭川物流

【代表取締役 湯野 信一】

Table with company information: 本社所在地 (北海道旭川市工業団地5条3-2-12), 資本金 (1,000万円), 設立 (平成4年9月9日), 従業員数 (77人), 車両数 (56台).

女性の輝く現場から

第45回「4トン車ドライバー(ルート配送)」川畑 愛さん(株式会社旭川物流/北海道)

連載第45回目となる今回取り上げるのは、「4トン車ドライバー(ルート配送)」のお仕事です。(株式会社旭川物流(北海道)の川畑愛さんが登場します。

プロフィール

夫の後押し受け故郷で叶えた母娘の夢 次の目標は「3年後、大型ドライバーになる」!

- 空知郡上富良野町出身。札幌の専門学校を卒業し、富良野の飲食店・ホテルで勤務後、「道外で働いてみたい」と愛知県の自動車部品製造会社に転職し、製品検査員に。別部署で勤務していた夫との結婚後に退職し、2人の男の子を出産。夫の退職を機に故郷・富良野へ戻り、幼少時からの憧れだったトラックドライバーに。安全運転のコツは、たっぷり睡眠をとること、運転中にラジオを聞いて道路情報をこまめにチェックすること。現在長男は小学校2年生、次男は保育園の年長。「息子たちに『ママのトラックが見たい!』と言われ、休日に会社へ連れて行って見せたこと(笑)。「カッコいい!」と大喜びでした(川畑さん)。趣味はバイク。「先日初めて、社内のバイクが好きなメンバーで連れ立って、紋別へツーリングに行きました(同)。

- 担当業務: 4トン車による包装資材・日用品等のルート配送
勤続年数: 4年1か月
取得資格: 大型自動車免許

川畑 愛さん



川畑さんのある1日の仕事の流れ

川畑さんは日々、どのようなお仕事に携わっているのでしょうか。お仕事に1日密着させていただきました。

Timeline of a day's work from 6:00 to 16:30. Includes photos of driving, loading/unloading, and office work. A map shows the route through various areas like Sorachi, Sorachi, and Sorachi.

川畑さんはこんな人!

川畑さんの第一印象は、「やる気に満ちあふれた人」でした。川畑さんに「仕事の空き時間に横乗り指導をしてほしい」と依頼され、社内での大型車の運転練習をサポートすることもあります。川畑さんのような「絶対に大型に乗りたい」という強い意志のあるドライバーの希望は、必ず叶えてあげたいので、お子さんがもう少し大きくなったら、ぜひ実現したいです。(横本正和次長/写真左)

history! 夢を叶えてくれる会社との出会い 目指すは「生涯トラックドライバー」

幼少時の川畑さんにトラックを意識するきっかけを与えてくれたのは、母だったという。



「母はトラックに乗るのも見るのも大好きで、自家用車を運転中にトラックとすれ違つと、『カッコいい!』と叫んでしまうほどの人でした。一時期は小型トラックに乗務し、生協の配達ドライバーとして働いていたのですが、足腰を痛め、退職を余儀なくされたのですが、それでもずっとトラックが好きで、街中で見かけるたびにトラックドライバーさんを羨んでいました。私はそんな母のことが大好きだったので、幼いながらに『私が大人になって、トラックに乗ったら母は喜ぶだろうな』と思っていました(川畑さん)

万全のサポートのもと担当エリアを拡大 地元・上富良野では母による「職場見学」も

成田次長による添乗指導を2週間、先輩ドライバーによる研修を1か月半行つてひとりで立ち上げた川畑さんが最初に担当したのは、「子どもたちを迎えに行くまでの時間で終わることができる運行」と成田次長が創出してくれた、地元・富良野方面への便だった。そこから、仕事に慣れることで配達時間を短縮することができ、さらに子どもを預ける時間を長くしたことを受けて、まず滝川方面、次に奈井江方面の配達で成田次長の判断に基づき追加された。地元・上富良野町内での配達時には、川畑さんの母が配達先を見学に来たことがあるという。

「当社への採用を報告した際、母はうれしさのあまり大騒ぎしていました(笑)。そんな母の喜びようを知った成田次長が、私がトラックを運転する姿を撮影し、その写真を母に送るようにしてくれたことがあり、その時も大喜びでした。ある日、上富良野の配達先で荷降ろしを終えると、女性の声で『すみません』と声をかけられました。振り返ると、声の主は母。上富良野での配達先や配達時間を尋ねられたことがあったのですが、それを参考に駐車場で待機し、私がトラックに乗ってお店に入ってくるころや、荷降ろしをしているところを見たり、携帯電話で撮影したりしていたというのです(笑)。驚きましたが、私がトラックドライバーになったことを、母がこんなにも喜んでくれるということが、うれしくて仕方なかったです(川畑さん)

子どもたちを小学校や保育園に送り届けることや、急病時の対応は夫が、延長保育や児童クラブへ迎えに行くのは川畑さんがそれぞれ担当し、夫婦で協力して仕事と家庭の両立を続ける中で、川畑さんが見据えるのは「3年後」だ。

「入社時から担当したいと狙っている大型車の便があり、その希望は配車担当者にも伝えていました。ただ、仕事の終わる時間が遅く、退勤が19～20時ごろになってしまいます。息子が2人とも、どこかに預けることなく、自宅で留守番ができるようになったら必ずその便を担当したいのです。となると、あと3年ほどかかると思うのですが、夫も応援してくれているので、『3年後に大型ドライバーになること』が今の目標です。この会社には、ドライバーの意見をどんどん吸い上げ、その意見に応じて業務を改善し、助言をくれる職場環境が整っています。疑問や不安があれば、その時点ですぐに成田さんをはじめとした管理者や、先輩ドライバーに気軽に相談できる会社の風土は、とても心強いです。また、配達先の方や、配達先で一緒になるドライバーの方が、荷降ろしを助けてくださることもあります。これからも、家族と社内外の方々サポートに感謝し、この会社でトラックドライバーとしてずっと働き続けたいです(同)

「ありがたいことに、川畑さんは『私は絶対に定年の65歳まで在籍します』と宣言してくれているため、我々も管理者も『お子さんの成長に合わせて、焦らずにステップアップしてください』と伝えています。川畑さんが憧れの大型ドライバーになるという夢を実現するために、これからも会社一丸となってサポートしていきます(成田次長)

「会社のHPには、女性ドライバーが在籍している」と書いてあったり、求人に関するYouTube動画が載っていたりして、それを見て『雰囲気の良い会社だな。ここに応募しよう』と思い、その場でHPに掲載されている電話番号に電話をしました(同)

面接当日、採用責任者の成田次長は、川畑さんの希望する勤務時間帯や休日、家庭の事情などを、細かくヒアリング。川畑さんが「あんなに大笑いしながら採用面接をしたのは生まれて初めてのだった」と語るほど楽しい雰囲気の中で行われた面接の結果、成田次長は川畑さんの採用を決める。

「前のめりになって熱心に話を聞く姿勢や、『今は子どもが小さくて無理だが、近い将来大型トラックに乗務したい』と熱弁する姿など、川畑さんの『この会社に入れてくれオラ』は強烈でした。大型免許を取得した上で応募してきたことも含め、『トラックに乗りたくらい』という気持ちで全身から伝わってきたので、彼女を採用し、ドライバー教育も私自身で担当しようと決めました(成田次長)



成田次長(左)と川畑さん(右)